

平成28年度

第2回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時：

平成28年7月1日（金）10時00分～12時00分

■場所：

中央幼稚園 遊戯室

■出席委員：

青木委員、青山委員、田中委員、橋田委員、前田委員、米村委員

■欠席委員：

上野委員、濱田委員

■関係人：

草津保育所 松田所長、中央幼稚園 水野園長

■事務局：

子ども子育て推進室 高岡室長、川那邊副参事、大岡主任
幼児課 金森課長

■傍聴者：

0名

1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事

(1) 草津市立認定こども園の園名案について（園名案候補の選定）

【事務局】

<資料1について説明>

【A委員】

園名案が、クラスの名前と同じ場合、昨年度の委員会では、その名前は園名案からはずしていたのですが、今回はどうするのか。

【事務局】

クラス名と重複するので、はずすという考えと、園名案がクラス名と同じ名前に決まったので、クラス名は変えていくという考えの2通りがあると思うが、どちらの考えでも問題ありません。

【B委員】

私は、クラス名がある場合は、はずす方向でよいと思う。園名案については、応募作品の中には、花の名前が多くあるが、園名案を花の名前にしてしまうと、園章を決める際にも、枠が決まってしまう、限定されてしまうと思う。逆に、園章を決めると、園名も決まってくるが。

【委員長】

ちゅうりっぷ（ちゅーりっぷ/チューリップ）が挙がっているが、これは、現在の中央幼稚園の園章が「ちゅうりっぷ」だからであると考えられる。ある程度、方向付けるのもひとつである。植物、草花を選定する際の留意点についての考え方はいかがでしょうか。例えば、ひまわりという名称をつけた場合、園章もひまわりのイメージに限定されてくる。今回は、どのように考えることとするか。

【C委員】

中央幼稚園の園章は、すごく大切に思っている。このちゅうりっぷの園章は、なんらかのかたちで残ってほしい。

【委員長】

例えば、この園章を残そうと思うと、「あおばな」や「ひまわり」などの園名案となった場合、おかしくなるということである。

【B委員】

おかしくなると思う。その場合、「あおぞら」や花の名前でなければ、よいと思う。

【D委員】

私は、そもそも「草津中央」が長いので、シンプルに「草津中央こども園」がよいと思う。もしくは、3文字の言葉がよいと思う。

【B委員】

私も、園名案の視点にあるように、わかりやすく、親しみやすい園名であることという部分で、園名があまり長すぎてしまうと、地域の方に覚えていただけないのではないかと思うので、もしつけるなら、3文字がよいと思う。また、つけないという案もよいと思う。

【A委員】

募集の段階で、草津中央〇〇〇こども園として、〇〇〇に言葉を入れてくださいと、募集しているのに、〇〇〇を結局なしにするのはどうかと思う。

【事務局】

園名案一覧の100番、101番の案は、何もつけないという意見であり、これも一つの案として、検討すればよいと思う。

【委員長】

募集要項では、草津中央〇〇〇こども園で、〇〇〇に言葉を入れてくださいとしており、募集は、〇〇〇を入れるということの前提で募集をしている。

前回の審議事項の中で、園名には、「地域からの親しみやすさ」と「子どもの育ちへの願い」を組み合わせた園名とするという方向性で決まったので、〇〇〇には子どもの育ちへの願いを入れる方向で検討していきたい。

これまでの意見としては、草花の名前を省くのか、どうするのかという意見や、園章を決定づけていくことになるので、この点をどのように考えていくのかということ、また、長すぎる園名は、わかりづらくなるので、文字数が3文字程度がよいという意見が出ている。

【B委員】

草津中央〇〇〇こども園という文字の看板が園の門に設置された場合、長すぎるとどうなのかと思う。

【A委員】

それは、文字の配置やサイズで対応できると考える。見た目では長いかもしれないが、言葉で聞いたら、そこまで長くないと思う。

【委員長】

草花の名前は、どのように考えるか。

【D委員】

まずは、自由に皆さんの意見を聞いてはどうか。

【委員長】

では、このような留意点はあるものの、自由に考える方向とします。

【E委員】

私は、市内の幼稚園に通っていたが、私は、草津中央〇〇〇こども園の、〇〇〇はいらないと思う。園章は、別で考えればよい。名前としては、草津中央こども園で、市民にとってはわかりやすいと思う。これから特に、外国の方も多くなってくる中で、草津中央こども園はわかりやすく、一般的であるのではないか。

【委員長】

昨年度の委員会でも、園章・園歌の方に、子どもの育ちへの願いを入れて、園名には、地域からの親しみやすさだけでいこうという議論もあった。しかし、最終的に、園名に、子どもの育ちへの願いと地域からの親しみやすさの両方を入れるということになり、今回も、前年度を参考に、前回の審議があったということになる。

他になければ、どのような園名がふさわしいか、皆さんの意見をお伺いし、その後、資料1の4ページを活用しながら、園名案の候補を5つ程度絞りたいと思う。

では、園名案をお伺いします。

【D委員】

「わくわく」、「げんき」、「何も入れない」

【E委員】

「何も入れない」

【C委員】

「かがやき」、「あおぞら」、「みつば」、「ちゅうりっぷ」

【B委員】

中央幼稚園の園章の由来はよいと思い、このちゅうりっぷを残したいと考えている。

「はぐみ」、「ふれあい」、「何も入れない」

笠縫東こども園について聞きたいのだが、この園名についても、地域からの親しみやすさだけだと思うが、笠縫東こども園は、どのようにしてこの園名に決まったのか。

【委員長】

幼稚園をこども園にするということで、地域の方が笠縫東を残してほしいという思いがあり、このようになった。園名も園歌も園章も地域に親しまれていて、園歌には園名が入っており、この園歌が移行後も引き継がれることが望ましいといった意見から、このような園名となった。

【A委員】

私は、「おひさま」、「ひかり」、「きらきら」、を候補として挙げる。園歌におひさまという歌詞があっ

たので、候補に挙げた。

【D委員】

資料の園名案候補にないものも言ってよいのであれば、「湖風（うみかぜ）」、「てのひら」も入れてほしい。

【事務局】

各委員の御意見は、参考にさせていただきたい。

【委員長】

地域に関係しているのは「湖風」、そして、「てのひら」、「わくわく」、「げんき」は健康に育ってほしいというイメージ、そして、「ふれあい」、「はぐみ」などは、こどもの内面の成長、内側から他者との関係の中ですくすくと大きく育つようなイメージになる。また、「かがやき」、「おひさま」、「ひかり」、「きらきら」などは、自然のイメージになる。

他に何かあるか。

【B委員】

園名案の「わかば」は、理由の部分がよい。

～休憩～

【委員長】

イメージでグループ分けができると思うが、植物で言うと、「みつば」、「ちゅうりっぷ」、「わかば」、また、「かがやき」、「きらきら」、「おひさま」、「ひかり」などは、一つのグループになる。それぞれのグループでひとつずつ残していければよいのではないか。

この他によいと思う、候補があれば、出していただきたい。

【A委員】

「にじいろ」はどうか。

【B委員】

「あおぞら」は、空を連想させる園章になるのかなと、また、「かがやき」、「おひさま」なども「ひかり」を連想させる園章になっていくのかなと思う。私は、「ちゅうりっぷ」の園章を残したいと考えているので、そうすると「ちゅうりっぷ」がよいと思う。ただ、長いのはどうかという葛藤もあるのだが。

【C委員】

私も「ちゅうりっぷ」はいいと思う。

【D委員】

園章にちゅうりっぷを残したいために、園名にちゅうりっぷを入れなくてもよいと思う。

【委員長】

例えば、草津中央かがやきこども園で、園章がちゅうりっぷでもおかしくないということですね。

【D委員】

そうである。私は、3文字くらいがよいと思う。

【C委員】

私は、「みどり」を候補にあげていただきたい。

【D委員】

私は、「何も入れない」がよいと思う。

【A委員】

もう少し、カラフルなイメージがよいのではないか。この中央幼稚園のちゅうりっぷの園章ができた由来は。

【事務局】

資料にあるとおり、中央幼稚園のちゅうりっぷの園章の由来は、「童謡のチューリップの歌詞『あか・しろ・きいろ どの花みてもきれいだな』のように、一人ひとりの個性を大切にされた教育を職員一丸となってすすめていく。」ということである。

【A委員】

「ちゅうりっぷ」について、園章が「ちゅうりっぷ」である中で、園名まで、「ちゅうりっぷ」にすべきかどうか。「ひかり」はどうか。また、「あすなろ」はどうか。

【B委員】

「みどり」でも、こどもたちの健康につながる。

【A委員】

「つぼみ」はどうか。

【委員長】

「つぼみ」は、同じ名称の保育施設が市内にある。

【A委員】

「つくし」もかわいい。

【B委員】

「つくし」は、保育所のクラス名でついている。

【E委員】

保育所と幼稚園が一緒になって、こども園になる。保育所的な名前が多く挙がっているように思うが、私は、「何も入れない」方がよい。

【委員長】

本日、挙がった園名候補と、次回、もし他に園名候補が出るようであれば、それも入れて、次回決めていきたいと思うが、どうか。

園章をちゅうりっぷで継承していくのであれば、ちゅうりっぷと関連性のある園名候補を入れておくと、育ちへの願いで、「ふれあい」を候補として残しておいて、次回議論するというので、どうか。

【A委員】

前回は、保護者代表の委員さんが、保護者の意見をまとめていただき、そのような意見も参考にさせていただいた。

【B委員】

園名募集の用紙は、各園に配られており、保護者でこの園名案がよいという方は、それぞれ応募されている状況であるため、現時点で、保護者の意見は反映されていることになる。

【A委員】

もうすでに意見を出していただいているのであれば、再度、保護者の方々に聞く必要はないと思う。

【委員長】

それでは、まとめると、「ひかり」、「みどり」、「おひさま」は、ちゅうりっぷと関連性があり、子どものすくすくと成長する姿をイメージさせるということで選ばれている。そして、園名と園章の関係から、「ちゅうりっぷ」、それから、「わくわく」、「ふれあい」、これは子どもたちが関係性の中で育つという姿、

これらを候補としたい。

これらを候補案とすることで、今回は意見集約し、次回、改めて、園名案を正式に決定したいと思う。委員の皆様におかれましては、子どものためのこども園として相応しい園名となりますよう、次回まで、3週間程度ありますので、熟慮いただきますよう、よろしくお願いしたい。

(2) 園章・園歌の選定方法について

【事務局】

<資料2について説明>

【委員長】

事務局から説明のとおり、園章について、中央幼稚園の現行の園章を一部変更し、利用するか、新たに募集するか、また、園歌について、中央幼稚園の現行の園歌を利用するか、新たに募集するか、次回、委員会の意見を決定したいと思う。

【A委員】

園歌については、こども園でも使おうと思えば、そのまま使うことができる。先生方はどのように思われているか。

【中央幼稚園 園長】

園歌は、中央幼稚園の園歌をそのまま使うことができるが、保育所の先生方の想いも大事にしなければならぬと思う。

【草津保育所 所長】

園章については、中央幼稚園のちゅうりっぷの園章に込められた願いは、すごく共感する。保育所の中でも、みんな一人ひとり輝き、違っていいんだよという保育を行っているので、この部分は、共通していると思う。

園歌については、このまま使われてもよいと思うし、また、新たに作ってもよいと思う。

【B委員】

私は、園歌は、歌だけを聴いてどこの園かがわかるため、歌詞の中に園名があった方がよいのではないかと思う。

【委員長】

本日の園名に関する議論も踏まえながら、次回までに、御一考いただきたい。

5. 閉会

【高岡室長】

様々な御意見をいただき、ありがとうございました。本日審議いただきました内容を踏まえ、次回の第3回委員会で園名案を正式に決定したいと思います。また、園章や園歌の選定についても、ご審議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

次回は、7月22日（金）午前10時から、市役所4階 401会議室にて開催します。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、ご出席いただきますよう、よろしくお願い致します。